

子どもの発達と絵本・読書

秋田喜代美
(東京大学教育学研究科)

本日

0はじめに:

第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な
計画

- 1 読書の始まり: 乳児期からの絵本
- 2 幼児期、児童期の発達と読書
- 3 中高校生の読書の重要性

(0)はじめに：第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画

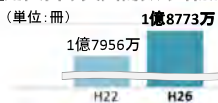
第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」について

趣旨 2001年(平成13年)に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、おおむね5年(2018～2022年度)にわたる子供の読書活動推進に関する基本方針と具体的方策を明らかにする。

第三次基本計画期間における子供の読書活動に関する状況等

主な現状

児童用図書の出借冊数の増加



全校一斉読書活動を行う学校の割合の増加

	H24	H28
小	96.4%	97.1%
中	88.2%	88.5%
高	40.8%	42.7%

取り巻く情勢の変化

学校図書館法の改正(平成26年成立)
専ら学校図書館の職務に従事する職員としての学校司書の法制化。学校司書への研修等の実施について規定。

学習指導要領の改訂(平成29,30年公示)
総則において学校図書館の利活用や読書活動の充実を規定。

情報化社会の進展

スマートフォンの普及やコミュニケーションツールの多様化。

主な課題

- 小中学生の不読率※は、中長期的には改善傾向にあるが、高校生の不読率は依然として高い
- いずれの世代においても第三次計画で目標とした進捗での改善は図られていない

※不読率：1か月に一冊も本を読まない子供の割合

<不読率の推移と目標値>



分析

- ① 中学生までの読書習慣の形成が不十分
- ② 高校生になり読書の関心度合いの低下
- ③ スマートフォンの普及等による子供の読書環境への影響の可能性

各世代の施策に反映

計画改正の主なポイント

- ① **読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進**
乳幼児期：絵本や物語を読んでもらい、興味を示すようになる等
小学生期：多くの本を読んだり読書の幅を広げたりする読書等
中学生期：内容に共感したり将来を考えたりする読書等
高校生期：知的興味に応じた幅広い読書等
- ② **友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実**
読書会、図書委員、「子ども司書」、ブックトーク、書評合戦(ビブリオバトル)等の活動
- ③ **情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析**
スマートフォンの利用と読書の関係等

推進体制

市町村推進計画策定率
◆第三次基本計画で定めた目標
市：100% 町村：70%
◆平成28年度実績
市：88.6% 町村：63.6%

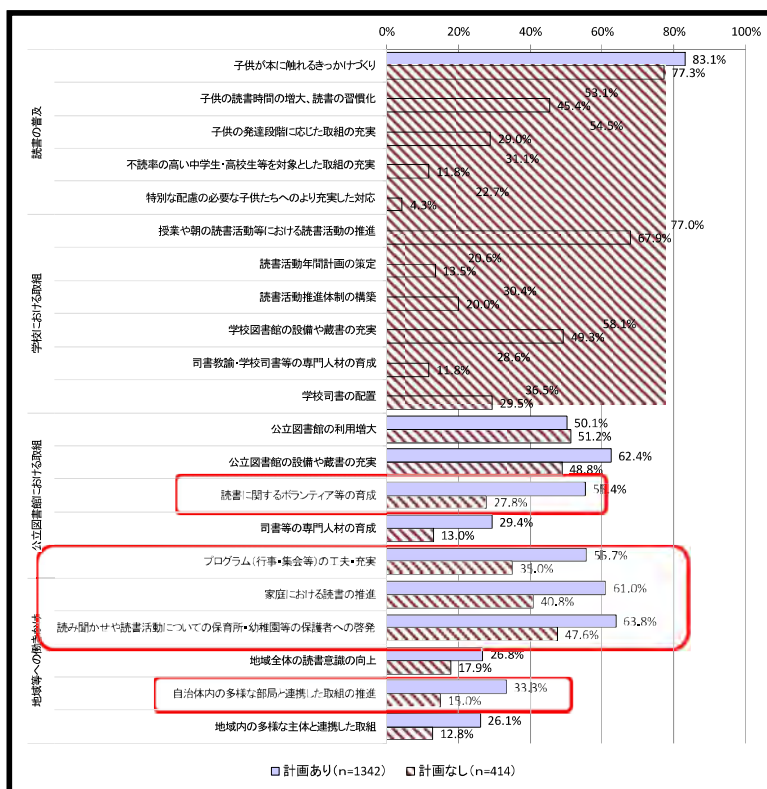
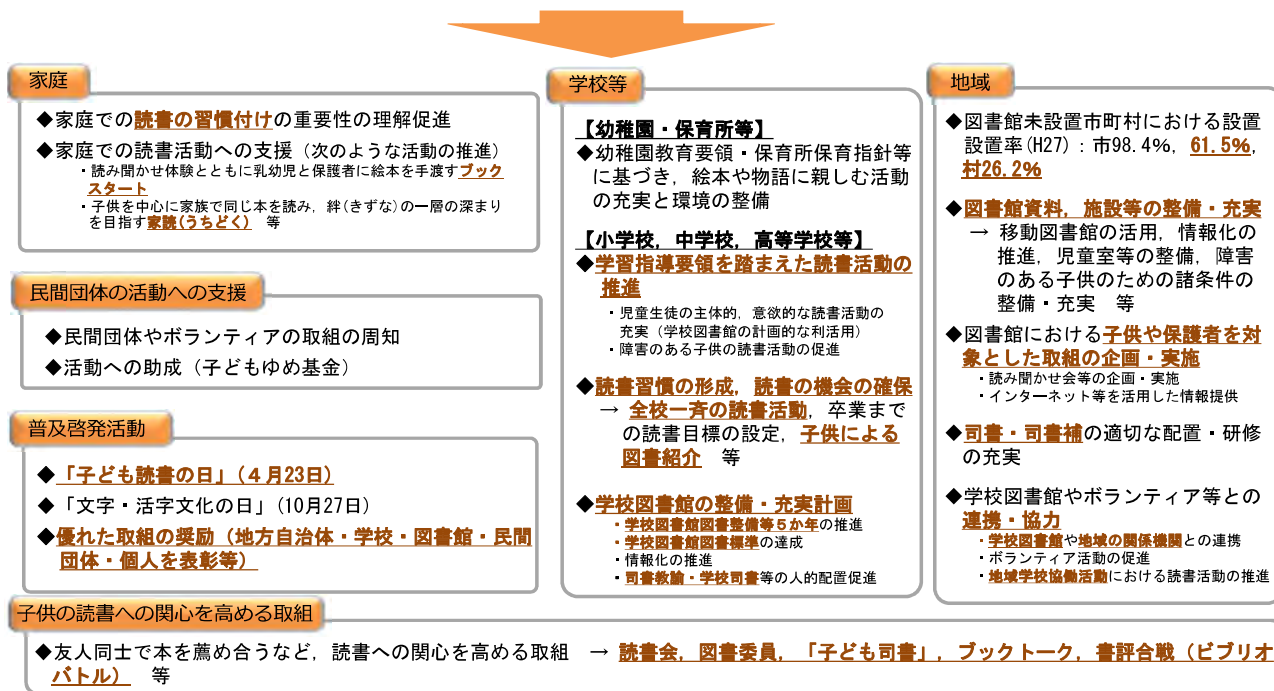
子供の読書環境を充実させるため、国・都道府県・市町村は、学校・図書館・民間団体・民間企業等、様々な機関と連携し、各種取組を充実・促進

市町村：計画未策定一策定、策定済一見直し、地域での幅広い関係者との連携等
都道府県：高校生の不読率改善に関する取組実施(高校を所管する立場から)、市町村への蔵書貸出、計画未策定市町村への助言等
国：情報環境と読書の関連調査・分析、地方公共団体への財政措置、国民の関心と理解の増進(子ども読書の日、優良事例の表彰等)等

第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」 推進のための主な方策

ポイント：

- ①発達段階に応じた取組により、読書習慣を形成 ②友人同士で行う活動等を通じ、読書への関心を高める



子供読書推進計画の有無別取組の実施状況（複数回答）：計画の持つ効果（文部科学省、2018）

(1) 読書の始まり 乳児期からの絵本

絵本や本を共有する世界

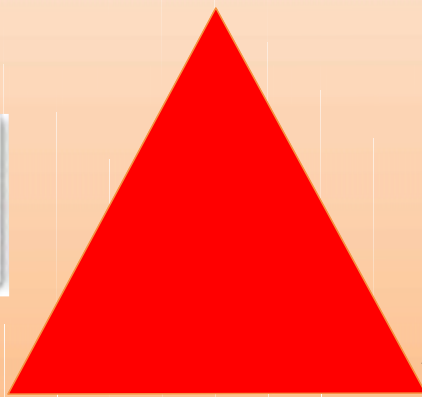
絵本を見る場(空間)



絵本(作品、著者、ジャンル)

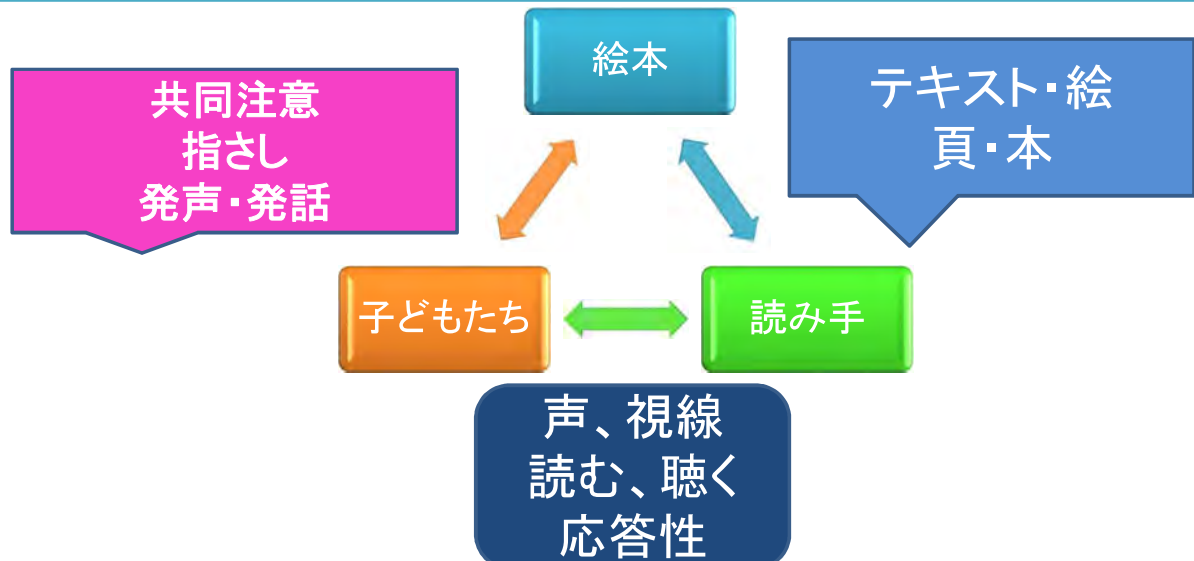


子ども
興味、能力



大人
経験 スタイル

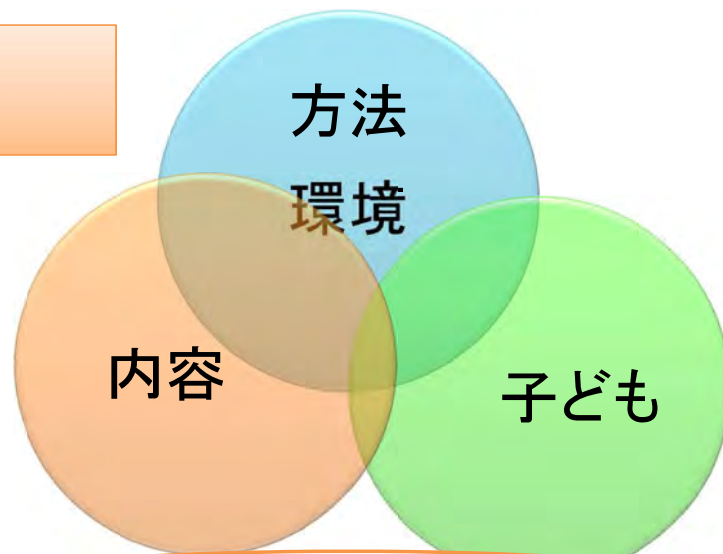
制度的な「場」での絵本 システムの視点、関係論的視点



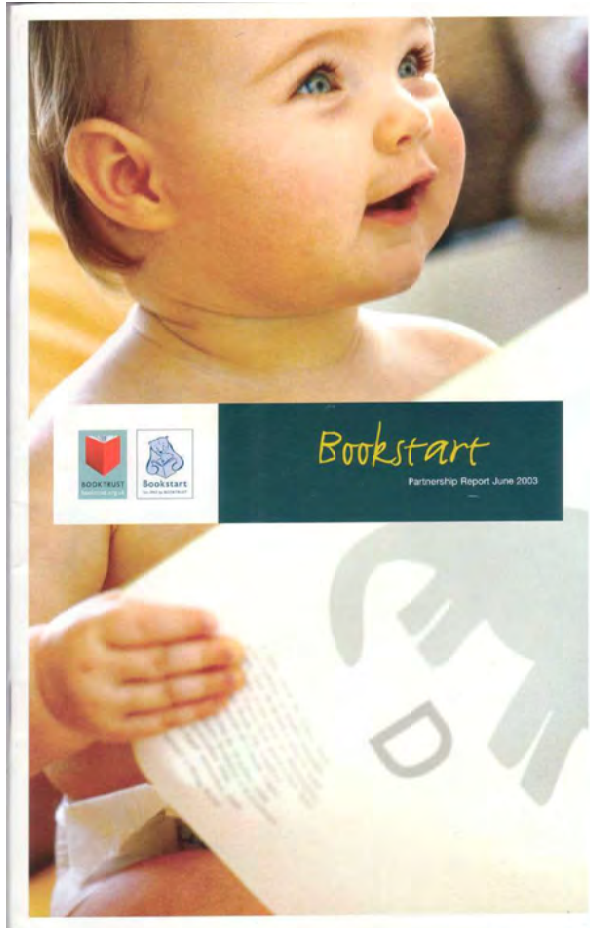
教育課程・保育計画 コーナー・学校図書館
司書教諭・学校司書

専門家 事例、知識スキル・専門的判断

目標
短期
長期的



発達の連続性・家庭との
生活の連続性、同僚との連携



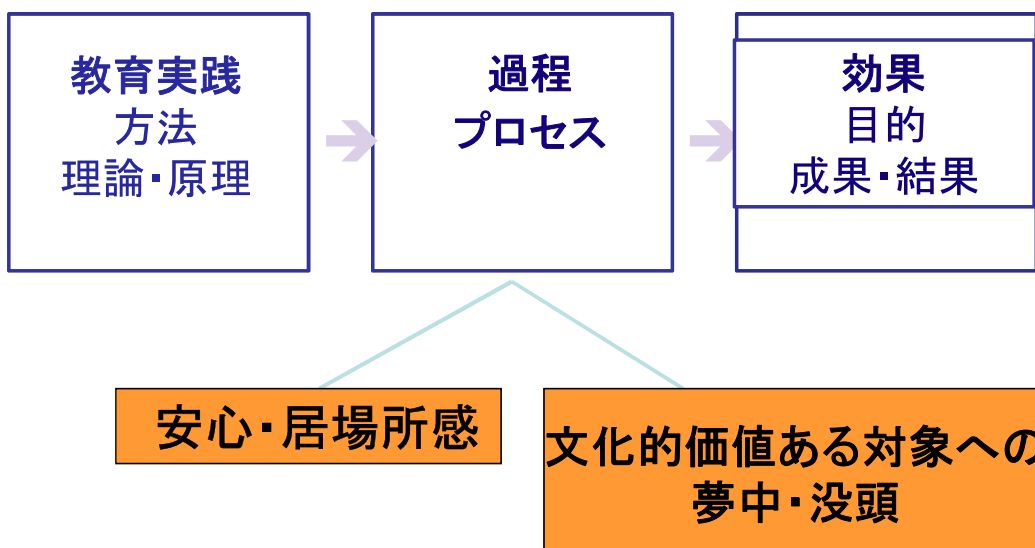
1029市区町村 57%

2018年7月31日現在 NPO
ブックスタート調べ

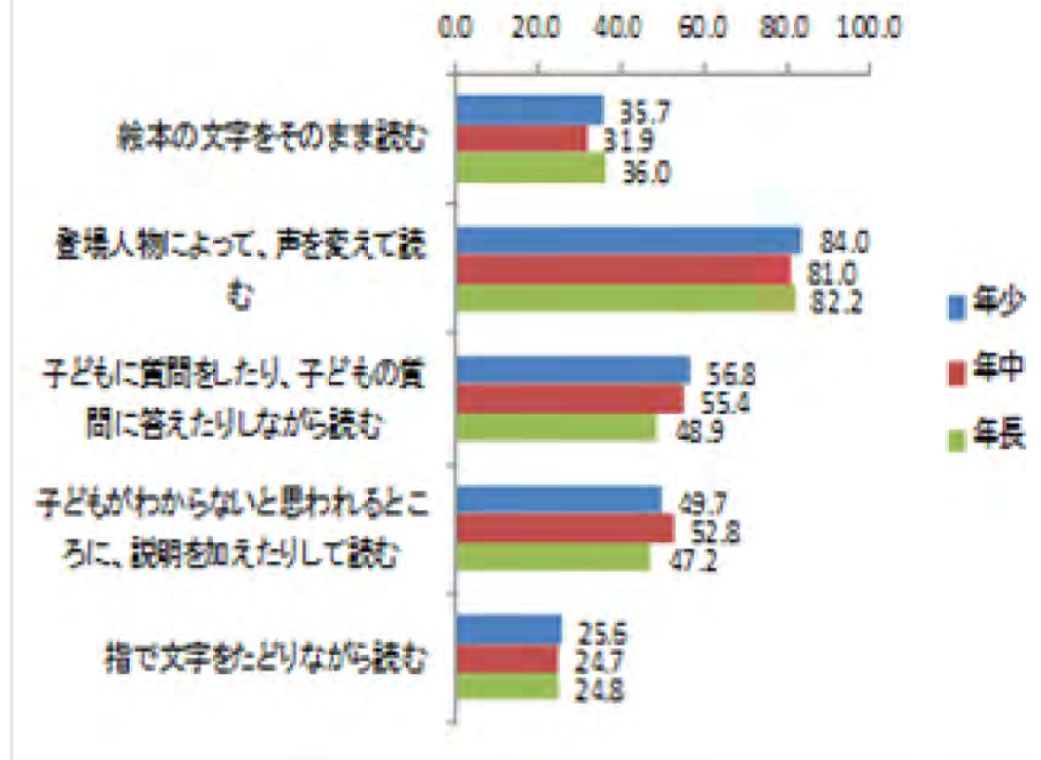
※全国の市区町村数は、1741(ここでの区
は東京23特別区)

※この一覧には、当NPOが活動の状況を
確認した自治体を掲載しています。

教育における質 (Laevers.1997)



親の様子



乙部(2014)の視線研究から

- 読み聞かせは、絵本・読み聞かせの有無による行動変化は10ヶ月児で最も大きく、読み聞かせをされている方が絵本に長く注意を向ける
- 10ヶ月児の絵本への注意増加は、人の声による話しかけが引き起こしている可能性が高い
それは母親だけに限らない。
- 3歳児は、他の月齢に比べて、読み聞かせによって、文字への注意が増加する傾向がある

②幼児期

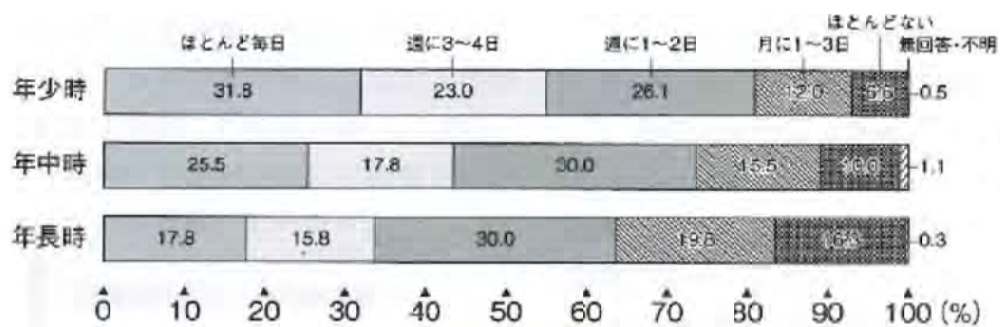


図1 読み聞かせの頻度

[ベネッセ教育総合研究所：幼児期から小学1年生の家庭教育調査 / 縦断調査, 2014]

家庭での読み聞かせは
年齢が上がると少なくなる

乳児期後期から幼児期へ

やりとりを仲間と共に言葉で
楽しむ

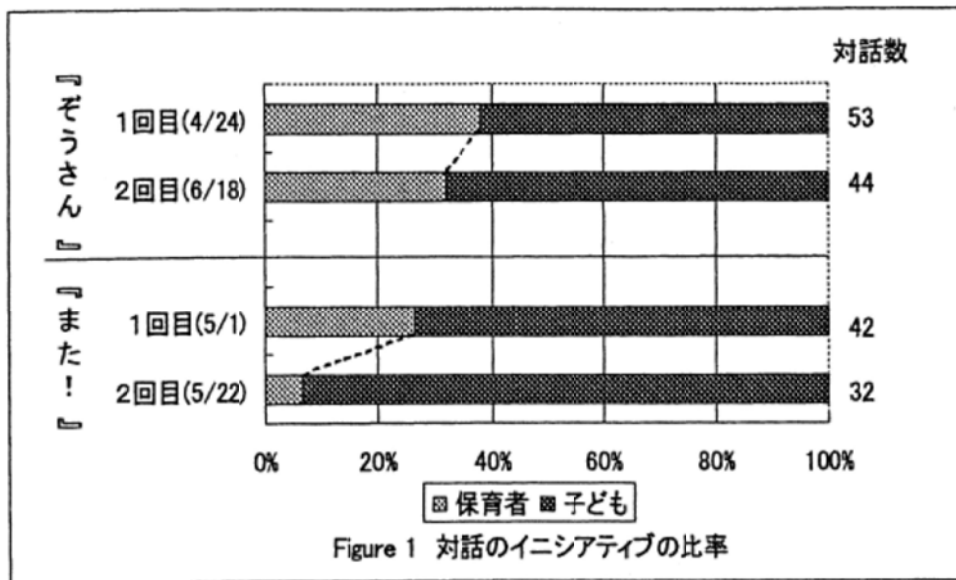
場面間のつながりや筋を楽しむ

物語理解・産出の基礎過程

(内田1983、佐藤2004)

暦年齢	1歳前後	3歳後半～4歳前半	5歳後半	
【現象】	◆遊び	延滞模倣 見立て遊び	スクリプト(日常経験する 行動系列)の再現→組み合わせ	計画性・ルールのある遊び 現実と虚構性の弁別と二重性
	◆物語	断片的報告 1語文 (動作による補い)	事象の統合→筋の再現 発端→展開→締めくくり	筋の一貫性・統合性の確立 〈結末から逆行する事象の確立〉 →ファンタジーの構成(夢・回想シーン)
【認知機能】	◆象徴機能	象徴機能 →「想像力」の出現		プラン機能 評価機能 モニター機能
	◆因果・時間	「現在+過去」 因果の枠組みの形成 →前から後ろへの推論 (原因→結果)	(欠如→補充)枠組みの成立	[+未来] = 時間概念の成立 後ろから前への推論 (結果→原因) =〈因果〉枠組みの成立
	◆情報処理能力		2→3単位	3→4単位

繰り返し読みの効果(横山、2013) 予期や同化



事例を通して

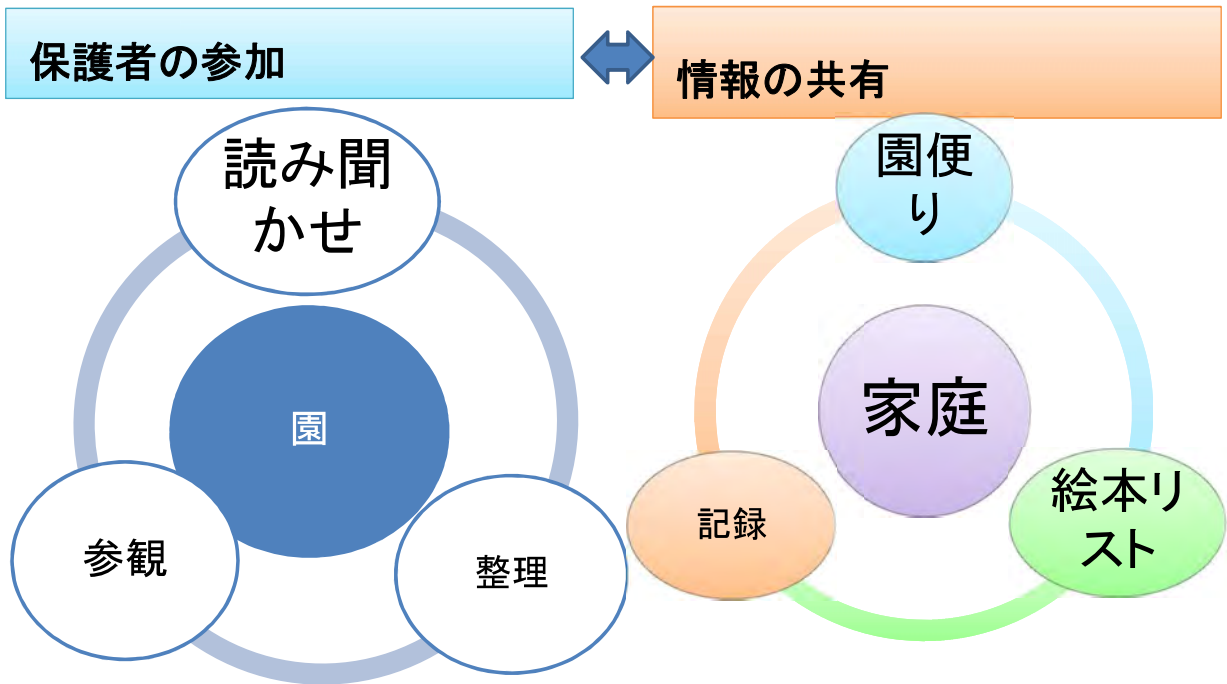
子どもの絵本との出会いと発達

子ども自身のアイデンティティの形成につながる

絵本と出会う環境構成の工夫

機会、空間、時間

発達の連続性のための連携

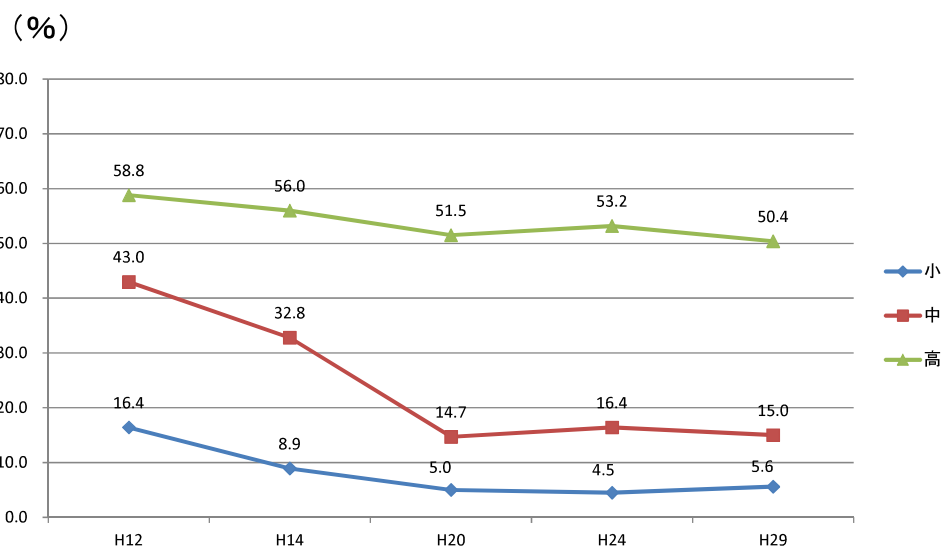


② 児童期以降

多様な学びの世界を拓く
絵や写真と共に学ぶこと
絵本を通して自己との対話をす
る

① 不読率の推移

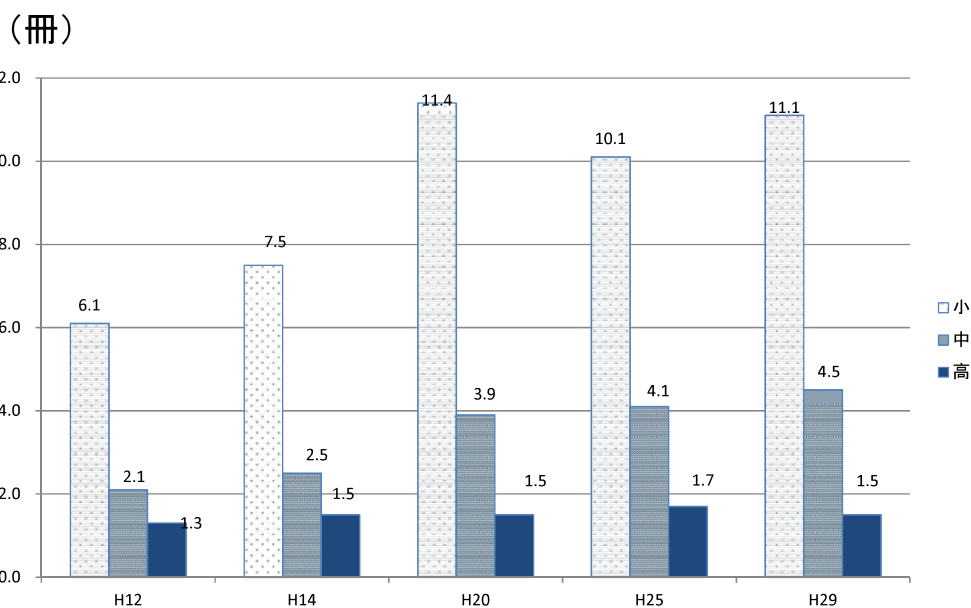
小学生、中学生は中長期的に改善傾向、高校生は依然として高い傾向



第63回学校読書調査
(公益社団法人全国学校図書館協議会・株式会社毎日新聞社)

1人当たり読書冊数(冊/月)

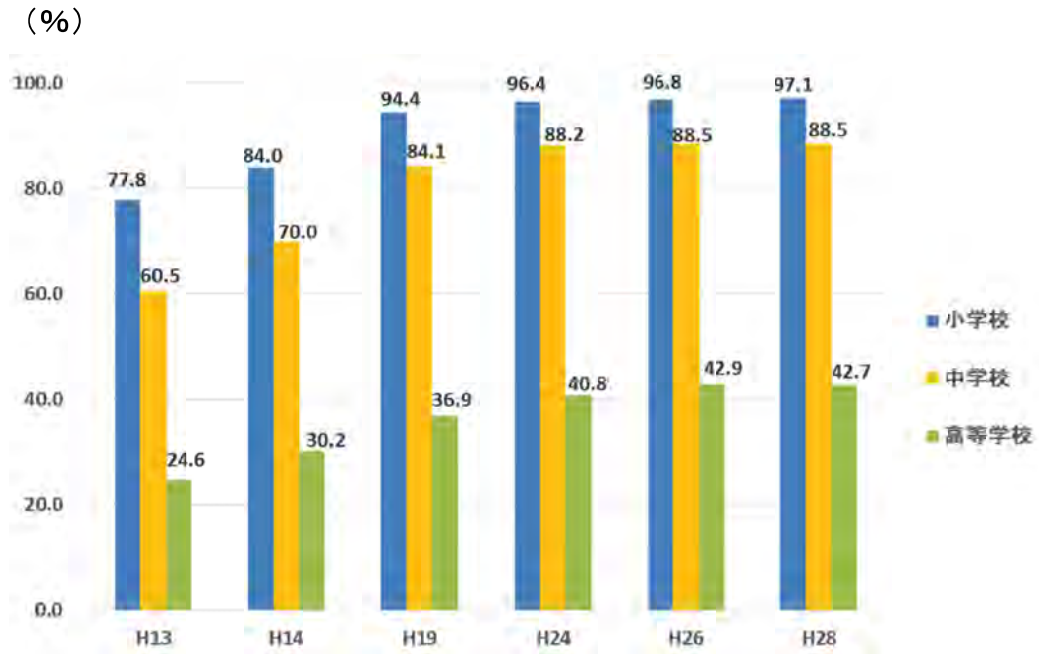
小学生、中学生は微増傾向、高校生は横ばい



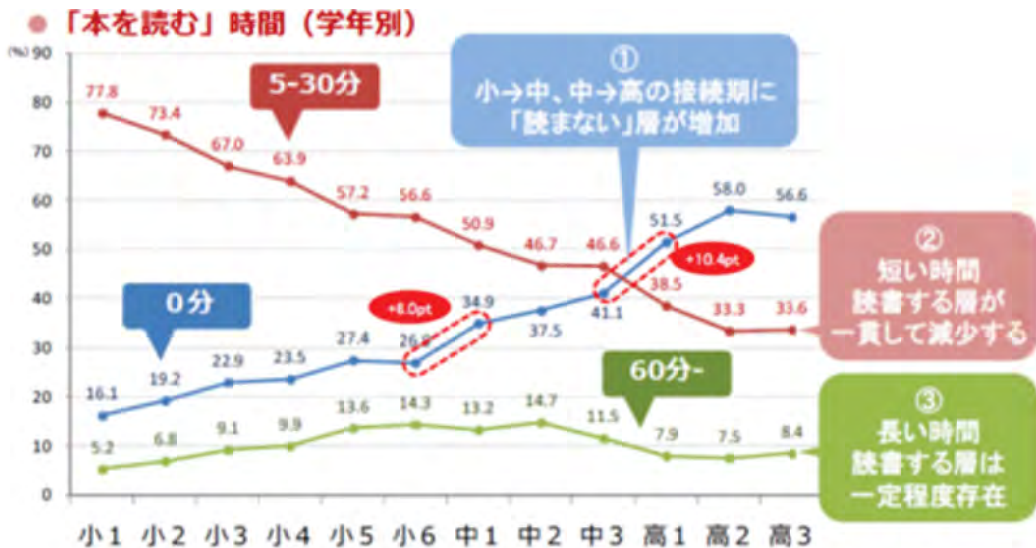
第63回学校読書調査
(公益社団法人全国学校図書館協議会・株式会社毎日新聞社)

全校一斉読書活動を実施している割合(%)

小学校、中学校、高等学校とも増加傾向



平成28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)



*「あなたはふだん(学校がある日)、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答(%)。
 *小1~3は保護者の回答、小4~高3は子どもの回答。[5-30分]は「5分」「10分」「15分」「30分」の合計。「60分-」はそれ以上の合計。
 *東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

図2 本を読む時間の学年別変化 (ベネッセ教育総合研究所、2017)

学校段階における影響の在り方の違い

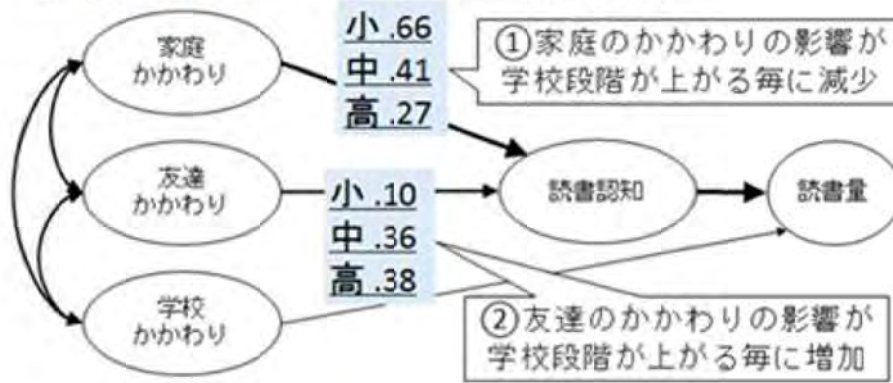


図4 小中高学校段階別の家庭・友達・学校の影響が読書認知と読書量に及ぼす影響(濱田・秋田、2018)

一斉読書の時間など、読書に関する活動状況と最近1か月で読んだ本の冊数との関係

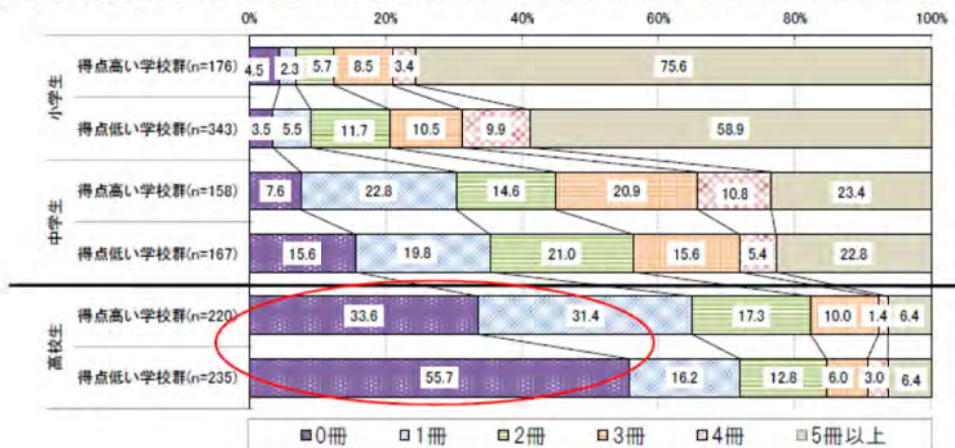
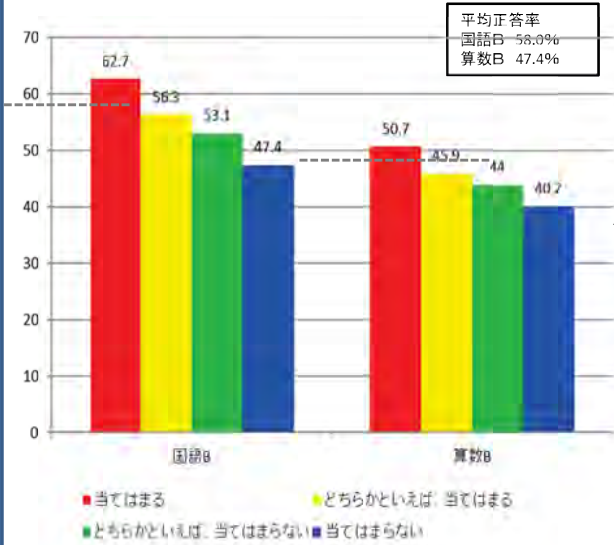


図4 学校の読書推進体制と生徒の読書冊数との関係
浜銀総合研究所(2016)

（参考）読書と学力との関係

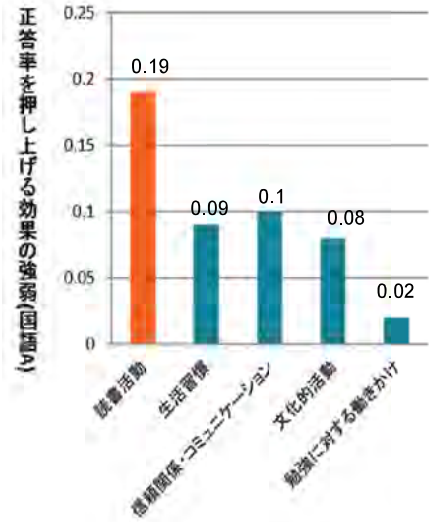
読書活動は、「学力」の向上に良い影響がある。

読書は好きですか(小学校)



(出典) 平成28年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)

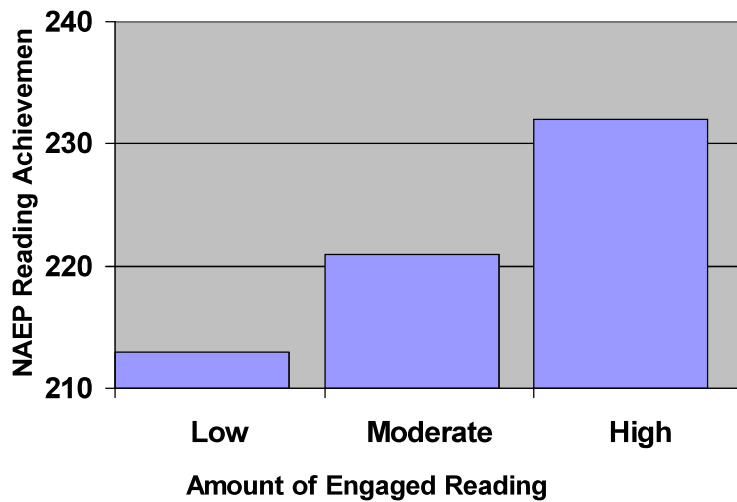
保護者の関与と学力の調査(小6)



(出典) 平成25年度全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究(国立大学法人お茶の水女子大学)

読解力は読書に集中する時間と関連する

Effects of Reading Engagement on Reading Achievement



子どもの頃(就学前から中学時代まで)の読書量と高校時代の読書量とを比較すると、

- ・現在の読書量は高校時代の読書量と、
- ・読書が好きかどうかは子どもの頃の読書量と、それぞれより強く関係する。

表1 各時期の読書量と現在の読書量・読書が好きかどうかとの相関係数

	子どもの頃の読書量 (小学校に通う前～中学校期) (N=5,258)	高校期の読書量 (N=5,198)
現在の読書量	0.231 **	0.311 **
読書が好きかどうか	0.309 **	0.011 **

** p<.01

子どもの頃の読書活動による成人の意識・意欲・能力への影響

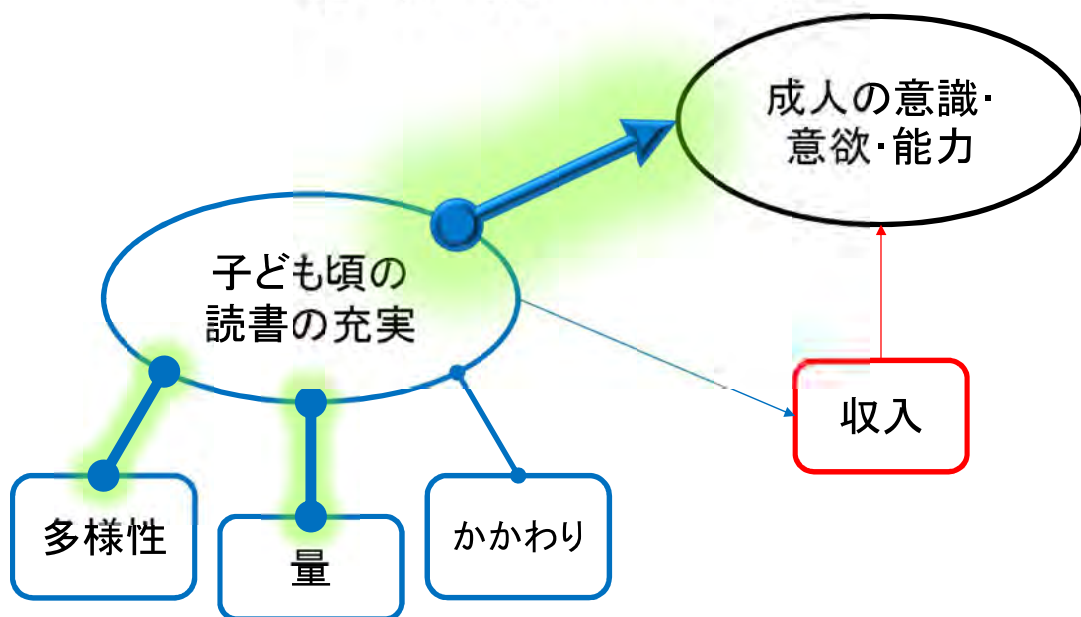
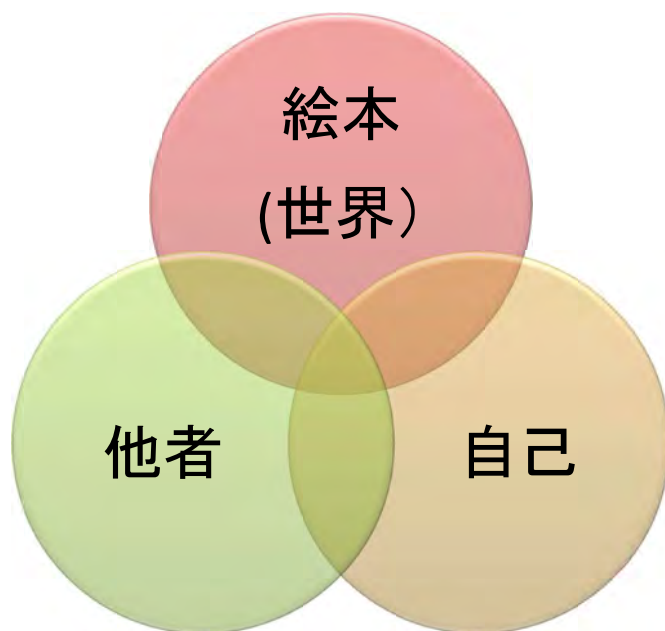
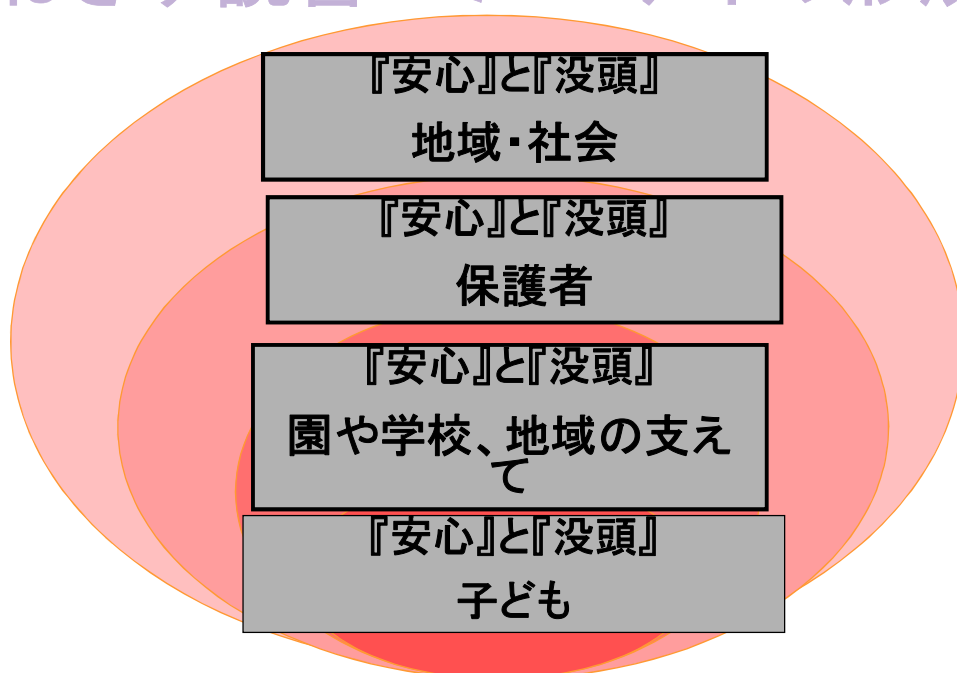


図11 子どもの頃の読書の充実・現在の収入・現在の意識・意欲・能力の影響関係モデル(Amosによるパス解析の結果)

生涯にわたる幸せの保障



子どもが楽しみ学びあう経験に ねざす読書コミュニティの形成



相互に協働しあう